



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月15日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 東  
 コード番号 6633 URL http://www.cgsys.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 聖一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部部长 (氏名) 大野 聡太郎 (TEL) 03(6864)0777  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,046	18.3	174	65.0	180	56.5	160	118.9
25年12月期第1四半期	885	△2.4	105	40.3	115	33.6	73	△12.3

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 149百万円(38.4%) 25年12月期第1四半期 107百万円(2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	14.52	—
25年12月期第1四半期	6.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	3,987	2,453	60.7
25年12月期	3,935	2,394	59.6

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 2,421百万円 25年12月期 2,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,614	△1.9	244	△10.1	254	△17.1	192	△0.4	17.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) —、除外 一社(社名) —  
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期 1 Q	11,982,579株	25年12月期	11,982,579株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期 1 Q	937,250株	25年12月期	937,250株
-------------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期 1 Q	11,045,329株	25年12月期 1 Q	11,045,517株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策により、企業収益の改善、設備投資の回復、雇用環境改善の動きが見られ、景気は緩やかに回復いたしました。また消費税増税前の駆け込み需要が増加したことから、個人消費も増加傾向となりました。

世界経済につきましては、米国、東アジア、アセアンと、いずれの地域も概ね緩やかな回復傾向ではあるものの、緊迫するウクライナ情勢、タイの政情不安等、先行き不透明な状況が継続しております。

当社の主要顧客である金型関連業においては、設備投資の先行指標となる工作機械受注統計（日本工作機械工業会）によれば、内需・外需ともに伸長し、平成26年1～3月における受注総額は前年同四半期比で約36%増、うち金型向けも約10%増と、回復の動きを見せました。

このような状況の下、当社グループは、販売面ではユーザに対して旧システムから最新システムへの移行提案およびWindowsXPサポート終了に伴うハードウェア移行並びに、保守契約の再加入を促進すると共に、工作機械等生産財メーカーとのイベント実施等、新規案件獲得に向けた活動を積極的に行ってまいりました。また研究開発においては、金型用3次元CAMシステム「CAM-TOOL」の最新バージョン「Version10.1」の開発を進め、同時5軸変換の自動化および簡易設定化を実現したほか、オプション機能を含む56項目におよぶバージョンアップ開発を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は10億46百万円（前年同四半期比18.3%増）、営業利益は1億74百万円（前年同四半期比65.0%増）、経常利益は1億80百万円（前年同四半期比56.5%増）、当期純利益は1億60百万円（前年同四半期比118.9%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### （CAD/CAMシステム等事業）

国内では自動車産業を中心に製造業が順調な回復を見せておりますが、CAD/CAMシステム等事業においては、消費税増税前の駆け込み需要による売上の前倒し等により、金型用3次元CAMシステムの販売を中心に販売が好調に推移いたしました。また海外では、中国において工作機械とのバンドル販売が伸びた一方で、他の地域では、政情不安および天候悪化等を背景に、受注が第2四半期以降にずれ込んだ案件が複数件あったことなどから、売上、利益共に想定よりも低調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におけるCAD/CAMシステム等事業の売上高は、9億65百万円（前年同四半期比29.7%増）、セグメント利益は1億84百万円（前年同四半期比111.9%増）となりました。

#### （金型製造事業）

金型製造事業においては、前年度末の受注状況が低調であったことに加え、原価率が上昇したこと、人材の増強等により販管費が増加したことなどから、利益面では赤字となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における金型製造事業の売上高は、81百万円（前年同四半期比42.0%減）、セグメント損失は9百万円（前年同四半期は18百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して52百万円増加し、39億87百万円となりました。主な増加要因は受取手形及び売掛金1億82百万円および無形固定資産8百万円、主な減少要因は現金及び預金1億40百万円であります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して6百万円減少し、15億34百万円となりました。主な増加要因は賞与引当金39百万円、主な減少要因は前受金8百万円、未払法人税等18百万円、短期借入金11百万円および退職給付引当金2百万円であります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して58百万円増加し、24億53百万円となりました。主な増加要因は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億60百万円、主な減少要因は配当金の支払いによる利益剰余金の減少77百万円および少数株主持分17百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、当第1四半期が国内CAD/CAMシステム販売を中心に順調に推移し、利益面では通期連結業績予想数値の7割程度まで到達いたしましたが、第2四半期以降につきましては、消費増税前の駆け込み需要の反動や、海外情勢の悪化が懸念されることから、現時点では平成26年2月14日に発表いたしました予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,874,366	1,733,929
受取手形及び売掛金	630,661	813,263
たな卸資産	52,814	40,055
その他	173,222	166,977
貸倒引当金	△2,542	△4,243
流動資産合計	2,728,522	2,749,983
固定資産		
有形固定資産	269,300	259,828
無形固定資産	17,994	26,802
投資その他の資産		
投資有価証券	24,345	22,052
投資不動産(純額)	443,060	440,278
その他	488,605	521,866
貸倒引当金	△36,818	△33,348
投資その他の資産合計	919,192	950,848
固定資産合計	1,206,488	1,237,478
資産合計	3,935,011	3,987,462
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	108,581	128,438
短期借入金	11,480	-
未払法人税等	42,348	23,858
賞与引当金	-	39,620
前受金	490,569	482,001
その他	169,169	143,353
流動負債合計	822,147	817,272
固定負債		
退職給付引当金	520,814	518,340
役員退職慰労引当金	102,345	104,633
その他	95,517	94,053
固定負債合計	718,677	717,027
負債合計	1,540,825	1,534,299
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	546,464	546,464
利益剰余金	1,492,357	1,575,366
自己株式	△209,146	△209,146
株主資本合計	2,329,675	2,412,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,691	△601
為替換算調整勘定	13,101	9,271
その他の包括利益累計額合計	14,793	8,669
少数株主持分	49,716	31,808
純資産合計	2,394,185	2,453,163
負債純資産合計	3,935,011	3,987,462

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	885,051	1,046,975
売上原価	308,416	372,750
売上総利益	576,635	674,225
販売費及び一般管理費	470,940	499,855
営業利益	105,694	174,369
営業外収益		
受取利息	2,687	459
不動産賃貸料	20,526	20,367
債務保証損失引当金戻入額	1,388	-
貸倒引当金戻入額	-	66
その他	4,988	4,245
営業外収益合計	29,591	25,139
営業外費用		
支払利息	542	127
不動産賃貸費用	19,269	18,695
営業外費用合計	19,811	18,823
経常利益	115,473	180,685
特別利益		
固定資産売却益	1,405	-
投資有価証券売却益	340	-
リース解約益	308	-
固定資産受贈益	74	-
特別利益合計	2,129	-
特別損失		
固定資産除却損	5	-
投資有価証券売却損	458	-
特別損失合計	463	-
税金等調整前四半期純利益	117,138	180,685
法人税、住民税及び事業税	30,395	25,457
法人税等調整額	3,813	△1,309
法人税等合計	34,209	24,147
少数株主損益調整前四半期純利益	82,929	156,538
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,698	△3,788
四半期純利益	73,230	160,327



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	82,929	156,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,551	△2,293
為替換算調整勘定	19,324	△5,086
その他の包括利益合計	24,876	△7,380
四半期包括利益	107,805	149,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,680	154,203
少数株主に係る包括利益	15,125	△5,044

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	743,856	141,194	885,051	—	885,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	743,856	141,194	885,051	—	885,051
セグメント利益	86,930	18,763	105,694	—	105,694

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	965,083	81,891	1,046,975	—	1,046,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	965,083	81,891	1,046,975	—	1,046,975
セグメント利益又は損失(△)	184,191	△9,821	174,369	—	174,369